

平成 25 年 9 月 10 日

西日本鉄道株式会社

弊社グループ 飲酒運転撲滅に向けた取り組みについて

西日本鉄道株式会社では、8 月 24 日に発生しました西鉄観光バス(株)北九州支社のバス運転士が関与したモバイル型アルコール検知の不正行為を、お客さまからの信頼を著しく失墜させることとしてきわめて重く受け止めております。

今後、西鉄グループ全体で一丸となって飲酒運転撲滅に向けた従業員教育の再徹底を図るなど原点に立ち返って取り組みを強化することで、安全の確保と信頼回復に努めてまいります。

なお、取り組みの概要は下記のとおりです。

記

◆ 飲酒運転撲滅に向けた取り組みについて

1. すでに実施したもの

(ア)緊急グループ安全マネジメント委員会の実施

社長以下グループ全体の幹部社員にて構成される本委員会を臨時で開催し、グループ全体で不正防止に取り組むことを確認しました。(8 月 27 日)

(イ)西鉄社長メッセージの拡大掲示

西鉄グループの各職場内に、飲酒運転撲滅を求める西鉄社長メッセージを拡大掲示しました。(8 月 31 日完了)

(ウ)部門長による訓示

各部門長およびグループ会社社長から飲酒運転撲滅の重要性について従業員に改めて伝えました。(8 月 27 日～9 月 7 日)

2. 今後新たに実施するもの

(ア)従業員の家族への手紙の送付

飲酒運転撲滅への取り組みの実効性を高めるために、西鉄社長名による飲酒運転防止への協力要請文をグループの全従業員の家族に向けて送付します。

(9 月末までに発送予定)

(イ)飲酒運転撲滅大会の実施

〔出席者〕

西鉄社長以下の全役員、各部門の責任者、グループ会社社長、現場の責任者および従業員

〔実施内容〕

西鉄社長の訓示、不正行為の概要説明および共有、飲酒運転撲滅に関する意識の徹底

〔スケジュール〕

10月予定

(ウ) 飲酒運転撲滅運動 意識改革を進めるための再評価委員会の設置

〔構成員〕

安全推進部長を委員長とし、グループ横断的に実務者クラスを10数名程度

※現場の運転士や女性社員などさまざまな階層からの幅広い意見を求める

※外部の有識者からの助言など

〔取り組み内容〕

従業員の意識改革を促す観点に立った取り組みの見つめなおしと検討

〔スケジュール〕

年内に提言をまとめ、すみやかに実施

以上